

# 探偵小説の父 森下雨村

江戸川乱歩、横溝正史などを発掘・育てた日本の探偵小説生みの親・森下雨村評伝の決定版

「高知新聞」好評連載作品を大幅加筆修正したファン垂涎の書、遂に刊行！  
貴重な写真・資料満載し往時をビジュアルに再現。



## 主な目次

博文館の黄金時代／編集長として「新青年」創刊／名古屋の小酒井不木を知る／乱歩の「三銭銅貨」に驚嘆する／甲賀三郎と大下宇陀児の出現／「丹下左膳」の才を見出す／横溝正史を「新青年」の編集者に／夢野久作が懸賞小説当選／渡辺温の死と谷崎潤一郎／海野十三と木々高太郎／半農半漁の戦後生活／最後の日記から

著者プロフィール

森下時男

昭和4年、森下岩太郎（雨村）の二男として生まれる。高知県出身。昭和28年トヨタ自動車販売に入社。昭和36年名古屋テレビ放送に転じ、平成3年同社専務取締役、同11年退任。名古屋市在住。

(有)文源庫 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44 駿河台ビル3F

キリトリ

<p>注文書</p> <p>新刊委託</p>	<p>探偵小説の父 森下雨村</p> <p>森下時男 著 (有)文源庫</p> <p>四六判上製 286頁 定価(本体2200円+税)</p> <p>ISBN978-4-903347-06-6</p>	<p>注文数</p>	<p>書店印</p>
------------------------	--	------------	------------

ご注文は、日本地図共販(株) TEL 03-3294-5208 FAX 03-3295-8487